



人に喜ばれる会社であり続けるために 創業者の想いをカタチに

食とホスピタリティを通して社会に奉仕し、食べる喜びや作る楽しさを伝え、
私たち一人ひとりが、社会にとっての「プラスワン」を考え、実践します。

グリーンハウスの社会貢献活動の原点 ホスピタリティデー

創業者の想いを永遠に受け継いでいくために、創業者の命日(4月14日)を「ホスピタリティデー」と名付け、知的障害者施設や小中学校の養護学級、フリースクールなどから多くの方々を招待し、当社従業員による各種イベントを行ってきました。



2003年 第1回[ホスピタリティデー]
当社運営ホテル(当時)にて、中国料理バイキングと大道芸などをお楽しみいただきました



2004年 第2回[ホスピタリティデー]
農作業体験と調理実習を通して、作る楽しさと食べる喜びを体感していただきました



2005年 第3回[ホスピタリティデー]
野外でのカレー作りを通して、作る楽しさとともに食材や人とのさまざまな出会いを体感していただきました



2006年 第4回[ホスピタリティデー]
本格的なクラシックコンサートのリハーサルを見学し、生の音楽に触れていただきました

社会貢献活動

● 職場体験学習

2010年度は2回にわたり、東京オペラシティ営業所で、渋谷区の中中学生を対象とした職場体験学習の受け入れを行いました。職場体験学習は、料理の仕込みや提供、盛り付けなどさまざまな仕事を5日間体験し、勤労観や職業観を育てる重要な学習機会となっています。当社グループは「食」を通じた地域社会との関わりを大切にしています。



体験した中学生の作った新聞には、イラストや写真を使い、実際に体験した作業内容、職場体験を通して学んだことや感想が書かれています。

● さぼてん子供料理教室「リトルシェフ」

「自分で料理をしてみたい…」と多くの子供たちの声。「やらせてあげたいけれど、散らかるし、危ないから…」とママの声。そんな、子供たちとママの願いを叶えるために、リトルシェフは生まれました。

“遊び”ながら“学ぶ”をコンセプトに、食を通して【感謝】【自立】【協調性】【食育】【創造力】を育む取り組みを続けています。



フードサービス業界発展のために



JF通常総会でスピーチする田沼社長

2008年5月から10年5月まで、社長田沼千秋が社団法人日本フードサービス協会(JF)第13代会長を務め、業界全体のイメージアップを図るため、3つの方向性を打ち出したほか、中期ビジョンの策定、協会の綱領を分かりやすく表現した「われわれの誓い」の制定、食の安全・信頼確保への取り組みとして「食の安全・安心財団」設立などの活動に取り組みました。グリーンハウスグループは今後ともフードサービス業界発展のため、さまざまな活動に協力していきます。



JF外食産業中期ビジョン

社会貢献活動

■ 「ウォーク・ザ・ワールド～地球のハラペコを救え。～」に参加

2010年6月、子どもたちの飢餓撲滅のためのチャリティー・ウォーク「ウォーク・ザ・ワールド～地球のハラペコを救え。～」が開催され、イベントの趣旨に賛同した従業員一同が参加しました。同イベントは、飢餓問題への認識を高めるとともに、参加費の一部を募金することを目的として開催され、集まった募金は、子供たちの健全な発育と就学率の向上を目指してWFP国連世界食糧計画（WFP）が行っている「学校給食プログラム」に役立てられています。

グリーンハウスでは、2010年度より国連WFP協会※の評議員を務めており、今後も同イベントへの参加などを通じ、WFPの活動を応援していきます。

※ 国連WFP協会：WFPを支援する認定NPO法人で、日本におけるWFPの公式支援窓口



飢餓撲滅をPRするキャップをかぶり、さわやかな海風が吹き渡るみなとみらい地区を歩きました



■ 「時空の路ヒルクライム in 会津」に協賛

福島県下郷町・会津美里町が主催する第7回「時空の路ヒルクライム in 会津」が2010年5月に開催されました。「ヒルクライム」とは自転車競技の一種で、山や丘陵の登り坂に設定されたコースを走るタイムレースのことで、今回は過去最多となる800人の選手がレースに参加し、熱い戦いが繰り広げられました。グリーンハウスグループは、創業者田沼文蔵が下郷町出身ということから、地域貢献の一環として2007年より同大会に協賛を続けています。



白熱したレースの様子

■ 「グリーンプラザ 田沼文蔵記念館」へ図書を寄贈

当グループでは、福島・下郷町にある「グリーンプラザ田沼文蔵記念館」内に設置されている「田沼文蔵 食と健康 文庫倶楽部」に、毎年多数の食と健康に関する図書を寄贈しており、「食文化の発信基地」として多くの町の方々に親しまれています。



グリーンプラザ田沼文蔵記念館



田沼文蔵 食と健康 文庫倶楽部

■ 農林水産省補助事業「おとどけシステム食育推進協議会」

農林水産省補助事業「平成22年度食育実践活動推進事業」の一環として、宅配や事業所給食などの利用者が、日常生活において「食事バランスガイド」を参考に「日本型食生活」を実践することを目的に「おとどけシステム食育推進協議会」が設立されました。当社も当協議会のメンバーとしてノウハウや

情報提供を行うなどの形で貢献しています。

当社の取り組みとして、食育研修会の実施、健康バランスメニューの開発、ランチセミナーの開催、食育パネル展、「食事バランスガイド」活用のための学習教材の作成・配布を行いました。



「食事バランスガイド」活用のための学習教材

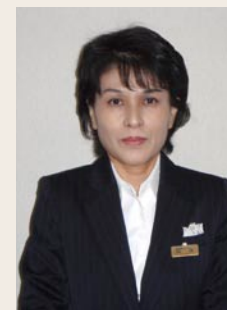


食事バランスガイドを使った研修会の様子



エビと春雨のスパイシー炒め

なんか+1
いいな、をプラスワン
コンテスト発表事例



【2010年度最優秀賞/社長特別賞】
グリーンホスピタリティーマネジメント
ホテル千秋閣
岡崎 恭子さん

現場の問題改善意識が、気が付けば「CSRの取り組み」へ進化!!

ホテル千秋閣（徳島市）では、以前から取り組んでいるペットボトルキャップの回収数アップや近所の公園の定期的な清掃などスタッフ一丸となって取り組んできた結果、近隣25カ所の事業所にキャップ回収箱設置の協力をいただいたほか、同市のパークアドプト事業※に参画するまでに至りました。こうした活動によって、地域住民の方々との円滑なコミュニケーションが図れるようになったとともに、ホテルスタッフのCSRに対する理解が一層深まる良いきっかけとなりました。今後も地域に愛されるホテルとして存在意義を高めていくとともに、地域の方々と活動を続けていきます。



ホテルスタッフで公園の清掃



徳島市パークアドプト事業に参画

※ パークアドプト事業：徳島市が、公園の清掃などを行うボランティア団体などに対して、活動の活性化を目的に支援を行い、美化意識や愛護心の向上と市民協働のまちづくりを推進するもの